



【編集・発行】NPO法人 金澤町家研究会／広報交流部会

■ 金澤町家流通コーディネーター事業がスタートしました！

2011年7月、金沢市より事業委託を受け「金澤町家流通コーディネーター事業」がスタートしました。当研究会がユーザー（町家購入・賃貸希望者）とオーナー（町家所有者）の仲介役となり、相互のご要望に合わせたマッチングで、町家活用の促進を図ります。

町家は近年、住まいはもちろんその雰囲気を生かしながらお店として活用されている方が増えています。広い町家なら、共同で住まうドミトリーとしての活用も考えられます。その他、工房や一棟貸しのお宿に改修された事例もあり、建築基準法や消防法などの規制の範囲内であれば様々な利活用が考えられます。

一方で町家は急速に無くなっており、建て替えだけでなく、駐車場にされるケースも多く、町家を活用したい方のニーズが、所有者の方に届いていないのが現状です。また、空き家も多く、近隣住民にとっては、不安を与えることにもなりかねません。この金澤町家流通コーディネーター事業を契機として、町家利活用の可能性を広くみなさまに知っていただきたい思います。



■ 金澤町家研究会ホームページがリニューアルしました！



金澤町家の継承・活用を一層促進するための情報サイト「かなざわ町家」ができました。

研究会の各種催しや町家の活用事例の紹介、および、町家流通コーディネーター事業についても詳しく説明しています。町家の改修事例なども掲載しています。さらに、連携団体のLLP金澤町家の紹介も行っています。

今後は、これらの情報や関連情報を充実させながら、金澤町家の継承・活用促進のためのポータルサイトとして発展させていきたいと思っております。

ホームページ URL: <http://kanazawa-machiya.net>

左図：ホームページ・トップ

■ 「金澤優良町家」認定式 (2011.10.10)

金沢市大手町・旧坂川邸にて、第2回「金澤優良町家」認定式が開催され、優良町家のオーナーの方に認定証と当研究会がデザイン・制作したプレートが贈呈されました。

当日は認定式のほかに「町家住まい手交流会」、「町家巡遊2011クロージングパーティ」もあわせて実施され、町家ショップのみなさまや、金澤町家にかかわる多くの方々と交流を図る機会となりました。

右写真：認定証公布の風景



■ 「町家住まい手交流会」(2011.10.10)

「金澤優良町家」認定式に引き続き、「町家住まい手交流会」が、旧坂川邸2階にて行われました。現在、町家にお住いの3組の方をお招きし、スライドを交えて町家の暮らしについてお話しいただきました。当日は、シンガポール在住の方も参加され、素晴らしい秋晴れでさわやかな風を感じながら、和やかに進められました。3組それぞれの町家暮らしは、参加者の方々にはとても参考になったようです。

<概要>

- 泉の町家：旧北国街道に面している有松近くの町家です。

代々住み継いでこられ、様々な商いをされていたようです。現在は、住まいの一部をギャラリー『こうさく舎くりくほ』として活用し、自作の陶器の展示・販売をされています。

- 観音坂の町家：観音院への階段途中の建物で、大学時代を過ごされた金沢への思いから購入され、改修して利用されています。元は、参詣客を相手にした料亭的な利用がされたようですが、そこからの眺望は素晴らしく、土日は喫茶店『いちえ』としてオープンされていますので、お立ち寄り下さい。



上記写真：交流会の風景

- 幸町ドミトリー：町家を大学生などがシェアして住むもので、まちなかにいくつかありますが、そのうちの一つです。現在は、2代目の方々が住まいされ、共有空間をうまく利用しながら共同生活を楽しまれています。また、この町家には比較的大きな蔵があり、そこをアトリエ的に利用したり、映画鑑賞のイベントなどに活用しています。ご近所との交流もあり、まちなかに高齢世帯が増えてきている中、このような形で若い方々も増えるとよいと感じました。

■ 平成23年度通常総会

7/16(土)に金澤町家・ギャラリー棟にて、通常総会が開催されました。活動等の報告や計画案の提案などがあり、いずれも満場一致で承認されました。その後、浅野聡氏(三重大学准教授)による基調講演がありました。

<講演会の概要>

- 「景観法の誕生と景観まちづくりの新しい展開
—地方都市の事例を中心に—」



浅野氏の講演風景

景観法は2004年に制定され、現在、金沢市をはじめ多くの自治体が景観行政団体となり、歴史的景観の保全再生を主目的にして景観計画を策定しています。景観法が制定された背景や同法の特徴について解説いただき、三重県などの地方都市の事例を通しながら、地域の歴史的景観を再評価して暮らしやすいまちを目指す景観まちづくりの必要性、市民と行政の協働を通じて動き始めた景観まちづくりの近年の事例、今後の展望などについて話題提供をいただきました。

講演の中で、伊勢川崎の町並みの保存活動を紹介いただきました。その中で、スライドとともに、1970年代の町並みや大学研究グループによる調査活動などの懐かしい様子も動画で紹介いただきました。

講演後、歴史的な建築や町並みの保存や活用のあり方などについて、会場参加者と活発な意見交換がありました。

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】事務局

〒920-0831 金沢市東山2-1-7 ギャラリー棟内 Tel. 076-253-3517

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com

<http://kanazawa-machiya.net>